

祭事暦

5月1日・20日午前8時30分

月次祭

5月5日 国府祭

午前8時00分 社頭発興
 正午 古式座問答 神捕山
 午後3時40分 神対面の儀 大矢場
 午後7時30分 社頭還幸



発行所
 寒川神社社務所

〒253-0195
 神奈川県
 高座郡寒川町宮山3916
 電話 代表0467(75)0004

編集者 水谷 智賢
 印刷所 樹さんこうどう



鎮守の森

人は誰しもがそうだと思うが、幼い時の記憶はあまり無い。覚えていても騒動を起こし大騒ぎになつて居る風景だったり、こつぱどく恥ずかしかつた事や怒られた事だったりする。私は、幼稚園児の態度が気に触り、遊んでいたおもちやを自慢した友達のおもちやを隠し、困らせてやるうとした。ほんのいたずら心のつもりが大騒ぎとなり、その後こつそり元に戻し、見付けてあげたふりをしたのだがその子は母親に「しつかり捜さないから」と責められ泣いていた。この時の何ともいえない後悔は今は今だに脳裏に焼きついている。その際祖父が私の変に気が付いたのだらう、根掘り葉掘り何があつたか聞いてきた。ついに事の真相を話したが、その後の記憶はない。ただその時、当たり前の事ではあるが人の大切な物にいたずらをしてはいけないという認識を身に付けたのだと思う。困みについ最近その友達に事実を話したが、彼は全く覚えていなかった。幼児期の子供はまだ善悪の区別があいまいである。なので自分が行った事を周囲の反応や親の行動で把握し、反省し、学んでゆくのである。従って大人達は子供達を見守り些細な事でも見逃さず気付けてやり、対応してあげなくてはならず、それが理論だけでは学べない生きた道徳であると信ずる。寒川神社が青少年を育成する施設「少年館」に五年前入館したやんちゃ坊主達は、今では講師を手伝い、低学年を纏めるまでになった。本当に驚く程の成長である。今年の入館生は二十九名、指導員として、互いに気付き、気付けがさせられ乍ら成長し、やがて大人同士のゆつくり語り合いたい。そんな思いにさせられるほろ苦い幼児期の思い出である。(野村尚広)



遷宮で結ぶ人の輪心の輪
 第六十二回神宮式年遷宮



宮山役員参列し、年参講をお仕えする

四月六日(土)・七日(日)の両日に亘り、年参講大祭が盛大に斎行されました。この祭典は、農作業が一段落するこの時期に、寒川町内の氏子を始め各地域の講社団体の方々、境内に咲き誇る桜花を愛でつつ参拝し、日頃の御神恩に感謝の念を捧げると共に、地域の安全と講員の無病息災を祈るお祭りです。本年は、六日の昼頃より

年参講大祭斎行

奉納演芸大会賑わう

先帝昭和天皇の御誕生日である四月二十九日は「激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み国の将来に思いをいたす」の趣旨にて、平成十七年国民の祝日に関する法律改正により「昭和の日」となり平成十九年に施行されました。

昭和祭斎行

現在に至ります。当日は早朝に、職員全員参列のもと「昭和祭」を斎行し、常にも国民と苦楽を共とし、日夜国民の幸福を願われた、昭和天皇の御心を拝し、皇室の弥栄と国家・国民の平安と繁栄を祈念いたしました。



舞踊奉納

午後からは、氏子総代主催による奉納演芸大会も賑やかに開かれ、カラオケや舞踊が披露され、客席より盛大な拍手が送られておりました。



参加者全員で熱唱



大洗磯前神社

相模國式内社の会では恒例の巡拝会を実施致しました。三十五回を迎えた今回の巡拝会は、記念行事として初めて一泊二日で行われ茨城・群馬県を訪れました。先ず式内社(名神大社)であり、東茨城郡に鎮座する大洗磯前神社を正式参拝し、飯塚宮司様より神社の歴史や氏子の教化育成についてお話を頂きました。続いて水戸市に鎮座する常磐神社を参拝し、隣接する偕楽園を散策、梅や桜の花を愛で、袋田温泉にて宿

式内社巡拝会実施

泊し懇親を深めました。二日目は、袋田の滝を觀賞し自然の雄大さを満喫した後、鯉のぼりの数世界一を誇る館林こいのぼりの里を見学致しました。その他、常磐神社の御祭神でもある水戸光圀公が健康を考え食した物を再現した黄門料理を賞味し、食の大切さを体験したり、佐野厄除け大師・茂林寺を視察するなど多彩な研修となり参加者からも「有意義な旅行」と好評も頂け、無事散会致しました。



常磐神社

五月五日

国府祭御神幸時間のお知らせ

この祭典は「ここのまち」とも呼ばれ、大磯町国府本郷の神揃山に相模国一之宮寒川神社・二之宮川勾神社・三之宮比々多神社・四之宮前鳥神社・平塚八幡宮の神々が神輿にて参集し、古式「座問答」が行われ、その後大矢場にて神対面の儀・国司奉幣の儀が行われます

神幸時間表

五月五日(日)

- 七〇〇 諸員参集
- 七二〇 遷霊祭
- 七五〇 発輿祭
- 八〇〇 社頭発輿
- 九〇〇 平塚通過
- 一〇三〇 神揃山祭
- 一一〇〇 古式「座問答」
- 一二〇〇 神揃山発輿祭
- 一三五〇 神揃山発輿
- 一四〇〇 大矢場着御
- 一五〇〇 神対面の儀
- 一五五〇 国司奉幣の儀
- 一六〇〇 大矢場発輿
- 一九三〇 社頭還幸

▼ 神対面の儀



本年は大矢場へ
大神輿が渡御致します



▲ 発輿祭



◀ 座問答

第四十四回 相模薪能 演目決定

当社では、終戦記念日である八月十五日に、先の大戦で祖国の平和を願いつつ尊い命を捧げられました英霊への慰霊と世界の恒久平和を祈り、毎年「相模薪能」を開催しております。

第四十四回を迎える本年は、神宮式年遷宮の年であり、これを記念して伊勢に縁のある曲が演能されます。尚、申し込み方法等の詳細は、次号にてお知らせ致しますので、ご参照頂きますようお願い申し上げます。

〔演目〕	能 絵馬
能 観世喜正ほか	狂言 伊文字
能 野村萬斎ほか	能 歌占
能 中森貫太ほか	
〔開演日〕	
平成二十五年八月十五日(木)	
〔場所〕	午後五時半予定
寒川神社境内特設能舞台	



◀ 能「歌占」

狂言「伊文字」



▲ 能「絵馬」

◆ 日本画「燕子花図」納入される

去る四月二十一日、日本画家である山岸泉淋氏の描いた「燕子花図」が当神社に納入されました。

山岸泉淋氏は、多摩美術大学絵画科日本画専攻を卒業後、パリ・ニューヨークなどで個展を催されました。また、京都高台寺本堂の襖絵や、藤沢本蓮寺に天井画や襖絵を納めた他、菓子や飲料品などのパッケージにも

◀ 左



▶ 右



手掛けられております。



この「燕子花図」は、尾形光琳らが作り上げた琳派の世界観を現代に表現したいという山岸氏の深い想いが込められており日本の伝統色である群青、緑青の燕子花が凜とした姿勢で水場に群生し咲き誇る姿に、日本古来の「間」が感じられ、自然と共存する和の美しさが溢れております

浦安の舞 講習会開催

神社音楽協会の先崎径子先生をお招きし、浦安の舞講習会を開催致しました

「あめつちの 神にぞいのる あさなぎの 海のごとくに 波たたぬ世を」と昭和天皇が御詠みになられた御製に楽をつけ奉唱するこの舞は、神様の御神威を和め奉る神前神楽です。受講生は、正しい形で奉奏できるよう先生の一言一言に注意を払い真剣に学び充実した講習会となりました。



祭祀視察研修参加

権備宜 前島 正

去る四月十三日から十五日まで、県神社庁祭祀委員会主催の「祭祀視察研修」としてタイ王国バンコク水かけ祭り（ソングラン）とアユタヤ世界遺産視察に参加させていただきました。

十三日早朝現地に着した後、まず世界遺産であるアユタヤに向かい、有名な木の根で覆われた仏頭が残るワット・マハタートを始め数々の遺跡群又、バンパイン宮殿や旧日本人町跡を視察の後、象乗り体験を楽しみました。バンコクへの帰路では、早速いたる所でバスに向かっての「水かけ」を受け、夕食後は市中へ出て、市民・観光客共に隔てなく無礼講で水を掛け合う民間習俗としての「水かけ祭り」を全身スプ濡れになりながら体験して参りました。

翌日は、午前中郊外の水上市ママーケットを視察、午後は王宮、エメラルド寺院、ワットポー、ワットアルン、また最終日には大理石寺院等々市内寺院を巡りました。この時期はタイの旧正月に当たる為、各寺院とも観光客のみならず地元参詣者で賑わい、熱心に参拝する姿にタイ人の信仰の篤さを感じることが出来ました。

二泊三日の強行軍ではありませんでしたが、異国の宗教、伝統文化の一端に触れる事が出来、有意義な研修となりました



▲ アユタヤ遺跡



▲ 王宮前広場にて



第六十三回 観桜駅伝競走大会開催

寒川町・寒川町体育協会主催による「第六十三回観桜駅伝競走大会」が四月七日に開催されました。本年は桜の開花時期が早く、見頃を過ぎての開催でしたが、町内外より七十八チーム、三九〇人が参加した大会となり、寒川神社前をスタートした選手達は

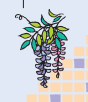
参道を駆け抜け自慢の健脚を競いました。強風の悪コンディションの中、練習の成果を発揮したTHE小松チームと中島中学校チームが見事一之宮賞（第一部・第三部優勝）に輝き、その栄誉が称えられました。



寒川俳壇 年間最優秀句決定

一之宮賞を授与

当神社社報「相模」に毎月四季折々の俳句を献じられております寒川俳壇の年次総会が去る四月一日に開催され、その席上本年度の優秀句が発表されました。最優秀句には、三輪恭子



氏の句が選ばれ、当神社より一之宮賞が授与されました。一之宮賞（年間最優秀句）梅漬けて

今年も無事に

折り返す

三輪 恭子

茅ヶ崎・寒川 春の短歌大会開催

茅ヶ崎・寒川短歌会による、春の短歌大会が、四月七日に開催されました。数多くの作品の中より

厚木市在住の深沢富美子氏の歌が一之宮賞に選出され、賞状及び賞品が授与されました。

一之宮賞受賞作品

ひもじさを

いふ「餓い」の

言葉さへ

忘れ去られぬ

飽食のせに

深沢 富美子

おお ほんらへ

水無月 大祓

大祓式並茅の輪神事
六月三十日〔日〕午後二時斎行
茅の輪をくぐり
身についた罪穢を
洗い清めましょう

あらたなる息吹をいただいで

相模国一之宮
寒川神社

相模国一之宮寒川神社例祭 第六十七回 奉灯大句会

- 一、兼題 夏座敷 二句（会費千円を添えて投句のこと）
 - 一、宛先 五月二十日必着
（会費の添えてない場合は受理しません）
〒二五三・〇一〇六
寒川町宮山一七六・五 飛石靖利
 - 一、大会日時 九月一日（日）午前十時受付開始
 - 一、場所 寒川神社参集殿四階
（相模線宮山駅下車徒歩五分）
 - 一、表彰 菊花御紋賞状の一之宮賞以下五十位まで賞品贈呈
 - 一、選者 客選 各地区先生 謝選 主催者代表
- お知り合いへ参加御勧誘をお願いいたします。
- 主催 寒川俳壇

◆青少年活動だより

寒川神社少年館

入館奉告祭・入館式

花散らしの雨が降る去る四月二日(火)、少年館では新たに入館する新入館生を迎え、入館奉告祭と入館式を行いました。

先ず神社本殿に於いて入館奉告祭を斎行し、これから過ごす少年館での健やかな成長を祈願しました。

引き続き少年館に会場を移し入館式が行われ、館長先生や講師の先生から記念品と祝福の言葉を頂き、ま



た在館生からも歓迎の挨拶を受け、不安と緊張の面持ちで聞き入っていました

今回、男子十六名、女子十三名計二十九名が加わり在館生と合わせ百二十一名が少年館に通います。それぞれの講座を受けることにより、一人一人が感性を磨き個性を伸ばし、自信を持って成長してくれることを願っております。

講師の先生方、指導員も過去最多となる在館生に対し、これまで以上に心を引き締め、一緒に取り組んでまいります。

少年館講師紹介



この度、「心の教育」講座に前寒川町教育長でありました三澤芳彦様に講師を引き受けて頂き、四月から講座が再開致します。

道徳教育の重要性が見直されてきた昨今、少年館ではこれまでも館生が伝統文化に触れながら挨拶や躰を基本に指導してまいりましたが、尚一層豊かな心が育まれるよう三澤様には、これまでの経験を活かしご指導を頂きます。

また、この「心の教育」講座は、三澤様のお父様であります故三澤祐一様が初めて担当した講座で、親子二代に亘り少年館の講師をお勤め頂くこととなり、改めて少年館の歴史を感じさせられます。



G.S. 神奈川県第四十五団

— 入団・フライアップ・巣立ち式 —

去る四月二十一日、スカウトハウスにて入団式・フライアップ式・巣立ち式を行いました。

新たに入団したスカウト達は上手に「やくそくとおきて」を言い、フライアップしたスカウトは今年の抱負を述べました。また、今年是一名が巣立ち、これまでの思い出やこれからの夢を語ってくれました。

本年も、スカウト達それぞれに描く夢や目標に近づける活動のスタート日になりました。



ボーイスカウト寒川第2団 もちつき・バザー大会開催

とき 5月3日(金) 9時～14時 雨天順延
ところ 寒川神社 馬場

あったか! つきたて!
あんこ・きなこ・からみ
大福・よもぎ餅
販売致します。
～つき手飛び入り大歓迎～



スカウト1日体験入隊コーナー開設
同日10時～12時

寒川病院だより

☎0467(75)6680 寒川町宮山193
http://www.samukawabyouin.com



4月から診療表が変更になりました。

寒川病院 診療表		月	火	水	木	金	土
内科	午前	1診 栗田啓司	武村文夫	栗田啓司	鳴海裕之	栗田啓司	武村文夫 1,3,5週 鳴海裕之 2,4週 栗田啓司 1,3,5週 早苗 努 2,4週
		2診 早苗 努		石田正之	早苗 努	円谷斉子	
		3診					
	午後	石田正之	鳴海裕之	武村文夫	石田正之	円谷斉子	
神経内科	午前						
	午後		栗田啓司				
呼吸器内科	午前						
	午後		石田正之 1,2,3,5週				
リウマチ科	午後			内山光昭			
糖尿病内科	午前		丸山真弓	丸山真弓	武村文夫	丸山真弓	
	午後	武村文夫				宮武 範	
循環器内科	午前		干場泰成				神田茂孝
	午後		15時から 原田厚4週	早苗 努			
外科	午前	1診 木勢佳史	原 正	徳田裕(乳腺)	原 正	田中 豊	原 正 1,3,5週 木勢佳史 2,4週
		2診 劉孟娟(乳腺)		石田秀樹	岡村卓穂(乳腺)	劉 孟娟	劉 孟娟
		2診 原 正		鍋島一仁 15時30分まで担当医	岡村卓穂(乳腺)	木勢佳史	
	午後	2診		15時30分まで 劉孟娟(乳腺)			
脳神経外科	午後					富永二郎	
皮膚科	午後	太田多美		眞鍋泰明	川井麻友		
泌尿器科	午前		福田 護				
整形外科	午前	1診 赤塚正洋	赤塚正洋	赤塚正洋	金 俊男	赤塚正洋	赤塚正洋 2,3週 江口英人 1,4,5週
		2診				岡崎 敦 1,3,5週 竹元 暁 2,4週	
	午後	赤塚正洋	休 診	坂口 彰	金 俊男	岡崎 敦 1,3週 竹元 暁 2,4,5週	
眼科	午前	木勢由利子	木勢由利子	早川賢治	保科真理	木勢由利子	及川哲平 1,3週 木勢由利子 2,4週 休診 5週
	午後	木勢由利子	中川喜博	早川賢治	鈴木崇弘	尾内宏美	
耳鼻咽喉科	午前	大上麻由里	大上麻由里	大上麻由里	大上麻由里	小田桐燕子	大上麻由里
	午後	大上麻由里	中 智美	大上麻由里	大上麻由里	関根基樹	
内視鏡	午前	原 正	鳴海裕之	荒瀬吉孝		木勢佳史	鳴海裕之 1週 木勢佳史 3週 原 正 4週
	午後	木勢佳史	原 正			鳴海裕之	

医療講演会のご案内

と き 5月23日(木)
午後2時~3時

ところ 寒川神社 参集殿

内 容 「ピロリ菌と健康」

講 師 医局長
木 勢 佳 史

入場無料 申込不要
ご来場をお待ちしております。

0467-75-6680
寒 川 病 院



神嶽山神苑

行事案内

神楽舞と雅楽の奉奏

◇五月六日(月)・十二日(日)

十九日(日)・二十六日(日)

◇午前十一時と午後二時

雨天時は中止(約三十分間)

※五月六日(月)振替休日は開苑します

◎茶室 直心庵 毎月一日に限りお茶席あり
◇午前十時三十分一席 ◇午後一時三十分一席
一席八名様まで先着順
※入苑券を持参の上ご来苑下さい

人 事

◆新採用

寒川病院

川崎万里奈

寒川病院勤務を命ずる

平成二十五年四月一日

◆退職

寒川病院

玉代勢由紀

看 護 師 願いに依り職を免ずる

平成二十五年四月三十日

看 護 師

寒川病院勤務を命ずる

平成二十五年五月一日

単 籠 菜 美

冬川俳壇

船頭の唄は正調つららかに
 廃校を知らぬ記念樹轉り
 花冷えや昨夜の篝の燃えのこる
 蹴立てて俳句談義や畑うらら
 陽炎の音が先き来る下校の子
 車座になりて固まる桜冷え
 うぐいすや鄙びし宿の大神計
 鏡台の母を急かせる入学子
 春風絵馬の願いを裏返す
 表札を確めてある春日傘
 もう届くことなき母の蓬餅
 花辛夷ぬきんでてある雑木山
 子供等の遠く暮して蓬摘む
 春愁の夕べは窓を開けしまま
 たんぼばや円空仏にこやかに
 鶯の主なき屋敷朝な夕な
 砂抜き浅蜷ささやく厨かな
 種袋最後の作に差して終ゆ
 春風朝の畝の流れ跡
 小流れをくの字に曲り花筏
 春風天地の境なくなりし
 轉の始まつている一樹かな
 つららかや山の稜線煙立つ
 風が来てフオークリフトに散る桜
 春風と言はれおどろく強さかな
 逢うは嬉し別れのつらき花の冷



芹沢 徳光
 根岸 君子
 相原 白路
 飛石 樺花
 天沼 子平
 伊藤 公一
 金指 月光
 岡田風呂釜
 松本美智子
 山本 朝子
 菅沼 保幸
 露木てる子
 岩田美代子
 浦野 房子
 並木みちよ
 原野 楽天
 三輪 恭子
 四ツ車梢月
 千葉 静香
 金子 つち
 宮人 つる
 菅沼うめの
 今関 幸代
 松村 信篤
 皆川志んこ
 倉谷 節子

五月 手水舎奉掲

明治天皇御製

ちはやふる神のをしへをうけつぎし
 人のこころぞただしかりける

相模詠草

やれし菓の一部となりて餌を待つ蜘蛛は暗き眼してゐむ
 都道府県名を順に並べ言う老い我のなす頭の体操
 自転車の散策路に見つけたる路のとう一つ春の香さそう
 ひとつまた一つと食べみる母狩り止まらぬ不思議赤きを目で追う
 篝桃春空見あげ庭に咲く空を帯いては花びらこぼす
 バージンロード父と腕組むわが女孫を見つめつ自ずとあふるる笑顔
 築山を陣取り春を先がけて咲いたミモザの幹の裂けいる
 もどり来れば玄関脇に置かれあるスイートピーの花束やさしく匂う
 春はここ霜を押し分けふきのとうさみどり芽ぶくに朝光の差す
 百々ちゃんと呼び親しめる六十年もその名のごとくやさしき友よ
 倒れてもすぐ立ち上るスケートの選手の健脚吾も持ちたし
 還暦のしるしと亡夫の買いくれしマッサージ器よ毎日使う
 時に鬼心にたのみ堪へしことも追儼の豆吾は供へて播かず



堀江 照子
 宇田川時子
 土屋トミ子
 浜田 寿子
 山口 幸子
 山根喜美代
 龜山 文子
 安藤 慧
 川島恵美子
 岡元 芳子
 天利 春枝
 三留とく子
 杉本 照世

表紙写真説明

国府祭。神揃山にて行われる
 座間答・県の無形民俗文化財・

編集後記

端午の節句。清少納言も「枕
 草子」第三十九段で行事を誉

め称えている。現存しない行
 事も数多くみられ、想像をし
 てみるが、今いちピンと来な
 い。これがまた面白い。